

# 製品名 ボンフロンパレ主材 ローラー用

AGCコーテック株式会社

|            |   |            |         |              |      |
|------------|---|------------|---------|--------------|------|
| 系統         | セラミック調水性フッ素樹脂系塗料  |            |         |              |      |
| 特徴         | 1. セラミック調で自然な風合いの仕上げができます。<br>2. フッ素樹脂組成のため、長期間メンテナンスが不要です。<br>3. 水系のため、地球環境に優しい塗料です。 |            |         |              |      |
| 用途         | 石材調仕上げ材   |            |         |              |      |
| 荷姿         | 20 kg   |            |         |              |      |
| 色相         | 各色  |            |         |              |      |
| 組成<br>適用法令 |   | 成分         | % (重量比) | 主な適用法令       |      |
|            | 白色  | 樹脂エマルジョン   | 20      | 消防法<br>危険物区分 | 該当なし |
|            |   | 顔料         | 71      |              |      |
|            |   | 水          | 9       | 労働安全<br>衛生法  | 該当なし |
|            | 計   | 100        |         |              |      |
| 塗料性状       |   | 粘度 (dPa·s) | 比重      | 加熱残分 (%)     |      |
|            | 白色  | 300        | 1.70    | 81.0         |      |

※ 塗料性状に記載している数値は代表値を示すものであり、若干の変動があります。

|                    |                   |                          |            |             |         |
|--------------------|-------------------|--------------------------|------------|-------------|---------|
| 取扱上の注意             | 別紙及びSDSを参照してください。 |                          |            |             |         |
| 塗装条件               | 雰囲気               | 温度5°C以上、湿度85%RH未満        |            |             |         |
|                    | 希釈剤               | 清水                       |            |             |         |
|                    | 塗装方法              | 砂骨ローラー                   |            |             |         |
| 標準所要量<br>希釈量<br>白色 | 塗装方法              | 所要量 (kg/m <sup>2</sup> ) |            |             | 希釈率     |
|                    |                   | 理論                       | 塗着効率       | 標準          |         |
|                    | ローラー              | 0.88                     | 80% ~ 100% | 1.00 ~ 1.20 | 1% ~ 4% |

※ 上記標準所要量は、標準的な所要量であり、被塗物の形状・素地状態及び塗装方法により、差が生じます。

|            |       |           |       |
|------------|-------|-----------|-------|
| 標準膜厚<br>白色 | 希釈率   | 標準膜厚 (μm) |       |
|            |       | 乾燥膜厚      | WET膜厚 |
|            | 1%    | 350       | 527   |
| 4%         |       | 556       |       |
| 乾燥時間       | 23°C  |           |       |
| 塗装間隔       | 指触乾燥  | 3時間       |       |
|            | 半硬化乾燥 | —         |       |
|            | 硬化乾燥  | 24時間      |       |
|            | 塗装間隔  | —         |       |

※ ポットライフと乾燥時間は目安です。無希釈、一定の温度条件の恒温槽にて測定したものです。

※ 乾燥時間の測定方法は、JIS K 5600-1-1 4.3.5 によります。

※ 本書類の内容は、予告なく変更する場合があります。

制定：2016年7月20日 改定：2022年1月1日

# 取扱い上の注意事項

## 1. 取扱い方法及び保管

- ・十分に攪拌してからご使用ください。
- ・被塗面の油脂、塵埃、水分などの付着物は除去してください。
- ・開封後は出来るだけ早くご使用ください。
- ・火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- ・取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを付け、更に頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等を着用して下さい。
- ・容器からこぼれた場合には、ウエスで拭きとって、水をはった容器に保管して下さい。
- ・塗料あるいは溶剤等の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまでは、必ず水に漬けておいて下さい。
- ・取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- ・缶上部の取っ手は手下げ専用です。ロープやフック等を取っ手に取り付けてつり下げないで下さい。
- ・貯蔵中は容器を密閉し、直射日光や雨のあたらない、換気の良い一定の場所を定めて保管して下さい。
- ・部外者の出入りできないところで、かつ子供の手の届かないところに保管して下さい。

## 2. 救急処置

- ・皮膚や着衣に付着した場合は、水やせっけんで十分に洗い落とし、皮膚に痛みや外観の変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
- ・目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けて下さい。

## 3. 火災時の処置

- ・万一、火災が発生した場合には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

## 4. 廃棄

- ・廃材、材料の付着したウエス等は安全な方法で保管し、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ・容器は中身を使い切ってから、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

## 5. 誤使用

- ・本来の用途以外(シンナー遊び、汚れ落とし等)に使用しないで下さい。
- ・指定された以外の材料と混合しないで下さい。

## 6. 詳細情報

- ・詳細な情報が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。

## 7. 低温時に塗装する際の注意事項

| 想定される状態   |     | 発生する不具合   | 対策、注意点   |
|-----------|-----|---|--|
| 下塗が未硬化の場合 |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下塗り成分が移行(ブリード)</li> <li>・ちぢみ(旧塗膜がある場合)</li> <li>・上塗り塗膜との融合</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・下塗り塗膜が硬化状態にあることを確認する。</li> <li>・下塗り塗膜に外観異常がないか確認する。</li> </ul> |
| 硬化速度の低下   |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装後の結露や降雨による影響を受ける時間が長くなってしまう。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装後に気温の低下、降雨の恐れがある場合は、塗装しない。</li> </ul>                        |
| 水分の混入     | 塗装前 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗膜の膨れ、発泡、軟化。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装前に被塗面の状態を確認する。</li> </ul>                                    |
|           | 塗装後 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗膜の膨れ、発泡、雨跡の形成、艶の低下、白化など。</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装後に気温の低下、降雨の恐れがある場合は、塗装しない。</li> </ul>                        |